ばんえい十勝開幕

世界唯一のばんえい競馬を楽しむ

毎週土・日・月曜日を中心に、帯広競馬場でばんえい競馬を開催中です。広報おびひろ5月号を持ってお越しください。

問い合わせ　ばんえい振興室（西13南9、帯広競馬場内、☎34・0825）

ばんえい十勝　検索

ばんえい十勝開幕のお知らせ

4月27日㈯より開幕する今年度のばんえい十勝は、「ナイター開催」を中心に、翌年3月24日㈫まで開催します。

また、ゴールデンウイーク期間も、通常通り開催します。

今年度も白熱したレースを提供し、来場いただいた皆さんへのサービスを充実させ、世界で唯一のばんえい競馬を盛り上げていきます。多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

開催案内

4月27日㈯から翌年3月24日㈫までの、毎週土・日・月曜日（年末年始など、一部変更となる場合があります）

入場料　100円

レース発走時刻（予定）

開催区分	日程	発走時刻	
		第1レース	最終レース
ナイター	4月27日～11月25日	14時45分	20時45分
準ナイター	11月30日～12月30日	14時15分	20時00分
デイ	1月2日～1月3日	11時30分	17時15分
薄暮	1月4日～3月24日	13時00分	19時00分

ゴールデンウイーク期間	日程	ばんえい競馬	イベント
開催日	4月27日～30日、5月4日～6日	○	○
非開催日	5月1日～5月3日	×	×

○日程や発走時刻は変更となる場合があります。
○開門時間は、ばんえい十勝オフィシャルサイトなどで確認してください。
○非開催日でも、帯広競馬場で他場開催分の発売を行っています。

開幕日は先着プレゼント＆騎手によるお出迎え

ばんえい騎手らが入場門前にて出迎えます。また、来場いただいた感謝の気持ちを込めて、先着1000人にお菓子をプレゼント。

日時　4月27日㈯、10時～（なくなり次第終了）

食のイベント「うまちか」のお知らせ

例年好評をいただいている「うまちか」を今年も開催します。十勝のおいしい「食」が集合し、こども縁日などを行う予定です。

ぜひご家族や友人と一緒に、帯広競馬場へお越しください。

詳細は決まり次第、ばんえい十勝オフィシャルサイトなどでお知らせします。

日時　4月27日㈯～30日（国休）、10時～17時（29日、30日は16時まで）

食のイベントが楽しめる「うまちか」

広報おびひろ5月号を持って 帯広競馬場に行こう

本紙「広報おびひろ５月号」を持って来場した人に、「帯広競馬場ご招待券」をお渡しします。

次回以降も、招待券を持参いただくと、入場料が無料になります。競馬場入場券売り場で本紙を提示してください。

配布期間：５月27日（月）まで

市長コラム

夢かなうまち おびひろ

旅する理由

帯広市長　米沢 則寿

最大10連休と言われる今年のゴールデンウイーク。旅行を計画している人も多いのではないでしょうか。海外旅行の予約は、年明けの時点で、例年の3倍を超えていたそうです。

海外旅行と言えば、30年ほど前、パリで、フランスを代表する実業家に「将来、観光では、どの国も日本には勝てなくなる」と言われたことが思い起こされます。神社・仏閣などを含め、西洋社会には無い歴史・文化と、世界一の治安と衛生環境が理由だと言われました。今、その言葉が現実のものになろうとしており、世界の中でも、日本への観光客数は、ここに来て急上昇しています。

観光地を巡る、おいしい食事を楽しむ、文化・歴史に触れる、ゆっくりと流れる時間を過ごす。旅の目的は、人によってさまざまですが、皆、いわゆる「非日常」を求めているのかもしれません。

私自身は、大学生になるまで、ほとんど帯広から離れたことがなく、自転車で行ける範囲の世界で生活していました。今では笑い話ですが、大学に進学する時、帯広から札幌に向かう「急行狩勝」に乗ろうとして、切符の買い方がわからなかったほどです。

そのためか、就職の際は、海外、未知の世界につながる東京の会社を志望し、就職後は、中近東、アフリカ、そしてロンドンに駐在、その後も米国、中国、ベトナムでのビジネスと、想像以上に世界中を旅することになりました。

海外では、時間を見つけて美術館や教会などを巡り、観光名所と言われるような所にも行きました。本物を見ることで素晴らしさを実感したこともあった一方で、がっかりするようなこともあり、改めて先入観や偏見に気付かされることもありました。

旅は、私たちの感性を刺激し、時には魂を揺さぶるような出会いや気付きを与えてくれます。

ただ、日常の仕事においても、外に出て色々な人に会い、刺激を受けることで、新たな視点に気付いたり、課題解決につながることがあります。

そう考えると「旅」は、いつでも、どこにでも存在しているものかもしれません。

「真の発見の旅とは、新しい景色を探すことではない。新しい目で見ることなのだ。」―フランスの小説家、マルセル・プルーストの言葉です。

皆さんにも、新しい目で、それぞれの旅を楽しんでほしいと思います。